

2016合格者座談会

理系



最後まで諦めずにやり抜くことが大切



- 緒方 裕（おがた ゆたか）…………… 東京大学理科Ⅰ類
- 加藤 沙輝（かとう さき）…………… 東京工業大学第4類
- 北園 泰斗（きたぞの やすと）…………… 東京工業大学第1類
- 小林 茉愛（こばやし まい）…………… 東京大学理科Ⅲ類
- 佐野 鴻之（さの ひろゆき）…………… 東京大学理科Ⅰ類
- 中野 遥（なかの はるか）…………… 東京大学理科Ⅰ類

（敬称略）

【司会】木村 浩二（SEG高校数学講師）

※本文中に出てくる「青本」はSEG高2冬期～高3春期の数学のテキスト、「クリーム本」はSEG高3・4・6月期の数学のテキストです。

自己紹介  
SEGに入ったきっかけ

**木村** まずは自己紹介をお願いします。また、SEGに入ったきっかけも教えてください。

**佐野** 今年の春から東京大学理科Ⅰ類に進学した佐野鴻之といいます。芝高校の出身です。中学受験が一段落し、中学校の勉強もしっかりやっていきたいという思いで塾探しをしていると、親がSEGを見つけてくれたため、中1から入塾しました。




**小林** 東京大学理科Ⅲ類に進学した小林茉愛です。出身は、浦和明の星女子高校です。中2のときに数学が苦手だったので、母親に数学でいい塾があるということを知り、そのまま入塾しました。

**緒方** 今春から東京大学理科Ⅰ類に進学しました緒方裕です。出身は筑波大学附属駒場高校です。中学受験が終わってから英語の塾を探しているときに、多読と

出会いました。この授業スタイルはいいなと思っていたら、追加で受けた数学の授業の方がもっといいと感じたので、SEGに入りました。

**加藤** 国立の筑波大学附属高校から東京工業大学の第4類に進学した加藤沙輝です。中1になると、なぜかSEGに入っていました（笑）。たぶん母が手続きをしたのだと思います。ただ、塾通いに疲れてしまい、中1の夏にSEGを一度辞めました。しかし、中3になってもう少し数学ができるようになりたいと思い復帰し、速修から始めました。

**北園** 同じく東京工業大学の第1類に進学した北園泰斗です。渋谷教育学園幕張高校出身です。算数オリンピックのファイナルに進出したからだと思いますが、中1のときSEGから数学Extremeコースの案内が届き、何となく通い始めました。中学でそのコースは終わるのですが、最後の授業で岡本先生から通常の数学の授業も受けてみたらと勧められ、高校から通常の

	 緒方 裕 東京大学理科Ⅰ類（筑駒高校）	 加藤 沙輝 東京工業大学第4類（筑附高校）	 北園 泰斗 東京工業大学第1類（渋谷教育幕張高校）
後輩に薦める参考書は？	理系科目はSEGの授業だけで十分。英語は「キムタツの東大英語リスニング」（アルク）「英文和訳演習 中級篇」（駿台文庫）。過去問は赤本より青本（駿台文庫）のほうが絶対いい。解説が充実している。青本がない大学は赤本で我慢。	理系科目については、SEGのテキストで十分。『漢文早覚え速答法（パワーアップ版）』（学研マーケティング）	『微積分 基礎の極意』（東京出版）※2 『福間の無機化学の講義』『鎌田の有機化学の講義』『鎌田の理論化学の講義』（旺文社）※3 『漆原晃の物理解法研究』（KADOKAWA/中経出版）※4
最近読んで面白かった本は？	雑誌『サラサーテ』（せきれい社）本『新業に挑んだ日本人科学者たち』（塚崎朝子・講談社 BLUE BACKS）	読書嫌いなので何も紹介できませんが、最近大学に入って読書の大切さを痛感しています……！	『集合・位相入門』（岩波書店）『暗殺教室』20巻（集英社）
座右の銘、好きな言葉は？	無駄なことを考えて、無駄なことをしないと伸びません。	大丈夫。	素数とフィボナッチ数が好きです。
自分はどんなSEG生だった？	SEGが大好き過ぎた自由気ままなSEG生	最後まで数学に苦しめられながら、SEGのおかげで逃げずに取り組めたSEG生	とにかく英語ができないSEG生 センター試験に苦しむSEG生 学期末に大量の課題をまとめて出して木村浩二先生を困らせるSEG生
目標とする人・尊敬する人は？	任意のノーベル賞受賞者 どの方も努力の量が並々でないから。そしてよい発見に出会えた運を持っているから。	両親 私が何不自由なく生活できているのは両親のおかげだと思うと、尊敬せずにはいられません。	青木亮二先生…授業が分かりやすいし学ぶことも多いし聞きやすくて、とにかくすごいから。 岡本雄一先生…数学の先生として尊敬してるのに話しやすいところ。 松本潤…かっこいいから。
大学生活の魅力は？	高度な内容の授業。本格的な部活動。	いろんな人がいるところ。※1	1限に授業がない日がある。（2年生以降、数学系に進むと）数学漬けの日々が待っている。
将来の夢は？	将来の夢は定まっていないので……。	小学生のようで恥ずかしいのですが、飛行機をつくることと、社長になること。	SEGの数学の先生

※1…様々なギャップに戸惑うこともありますが、その度に自分の世界が広がっていくような感じがします。  
※2…数Ⅲ微積分の武器は身についていて、戦法が知りたい人向け。  
※3…幅広い人にかなりおすすめ。  
※4…物理が結構得意な人におすすめ。

数学の授業に通い始めました。

**中野** 東京大学理科Ⅰ類に進学した中野遥です。桜蔭高校出身です。中1の夏に英語の塾を探し、いくつか候補を絞り込んでいたのですが、英語の本をたくさん読んで英語力を伸ばそうという多読の授業に惹かれてSEGに決めました。

SEGの印象

先生も生徒も濃い！

**木村** SEGの授業や先生について、印象に残っていることはありますか。

**佐野** ここにいらっしゃるから言うわけではありませんが、僕は木村先生の授業が大好きでした（笑）。毎週、数学の小ネタをけっこう披露してくださるのですが、その場では分からなくても、数学を学んでいくと、後になって「あのとき木村先生が言いたかったのはこういうことだったのか」と腑に落ちることがけっこうありました。高校数学にとらわれない授業で、研究への興味を引き寄せてくれたり、自分で探求する心を開かせてくれたりしたところが印象に残っています。

**小林** SEGに入る前は、塾に対して、先生が淡々と授業をこなしているイメージしかなかったのですが、SEGでは先生が本当にその授業を楽しんでいて、聞いているこちらが「うわーっ」て圧倒される先生も多く、びっくりしました。そのおかげで数学を好きになったので、本当にSEGに入れて良かったと思っています。

**緒方** どの授業も印象に残っていますが、たとえば数学の場合、しばしば大学受験を意識した高度な内容が出てくるのですが、分からないままに受けていても、2～3年後に分かるようになるという経験がたくさんあり、それが印象に残っています。また化学では、吉久先生に「知識だけでなく、どうやって採点者から点をもぎ取るか」（笑）というスキルを学べたこともありがたかったです。

**加藤** 授業以外のことになりますが、SEGでは先生も生徒もとても濃いです（笑）。いい意味で濃いで、とても刺激的な環境でした。普通の学校生活とはちょっと次元が違う空間で、勉強というより突き詰めて考えることが好きな人たちが集まっている環境や雰囲気、とても印象的でした。

			
	<b>小林 茉愛</b> 東京大学理科Ⅲ類(浦和明の星女子高校)	<b>佐野 鴻之</b> 東京大学理科Ⅰ類(私)芝高校)	<b>中野 遥</b> 東京大学理科Ⅰ類(桜蔭高校)
後輩に薦める参考書は？	『1対1対応の演習』(東京出版) 『生物Ⅰ 合格39講』(学研) 『生物Ⅱ 合格33講』(学研)	クリーム本は他に類を見ない最強のテキストだと思います。	『センター試験 地理Bの点数が面白いほどとれる本』(中経出版) 『出口センター現代文講義の実況中継』(語学春秋社)
最近読んで面白かった本は？	最近本を読んでいません……。	特にありません。	
座右の銘、好きな言葉は？	心に数学の世界を広げる！	木村浩二先生が授業中におっしゃった、「最初から夢を追わなければ、夢は見れない」。	明日は明日の風が吹く
自分はどんなSEG生だった？	マイペースなSEG生	ひたすらSEGが大好きだったSEG生	数学よりも物理よりも化学が好きなSEG生
目標とする人・尊敬する人は？	SEGの先生方	木村浩二先生、青木亮二先生 ※	
大学生生活の魅力は？	自分の意志で行動できることが増えること。	自由。高校では大人が決めた規則に縛られていた部分がありましたが、大学では自由に自分のしたいことができます。その分責任も大きくなっていくわけですが……。	友人があらゆる面で尊敬できること。理系、文系に関わらず様々な分野の研究ができること。
将来の夢は？	医師	東大の進学振り分け制度を使って、2年までに興味のある学問を見つけ出し、将来の進路を決めていきたいと思っています。	研究者

※…心から尊敬しています。あれほど数学に対する愛が深く、かつ生徒である我々にあれほど上手く数学の面白さを伝えることができる先生はなかなかいらっしゃらないと思っています。先生方に出会っていなかったら、これほど数学が好きでなかったと思います。

**北園** 数学 Extreme コースでの忘れがたい思い出は、一緒に受講していた生徒が、なぜか岡本先生に肩車されていたことです（笑）。でも、その生徒は難しい問題をスラスラ解いているのです。いろいろな意味で、本当にすごい人がたくさんいる環境で良かったなと思っています。

**中野** 吉田先生の物理Hでは、高校の授業内容にとらわれずに、微分や積分で運動方程式を証明したり、常微分方程式が出てきたり、偏微分をやったりと、いろいろ超越したことをやっていました。「この先生、すごい」と思っていたのですが、大学に入ってみると、けっこう役に立ったりしています。

志望大学・学部について

東大の魅力は進振り制度

**木村** では、受験の話に移ります。志望する大学や学部は、いつ頃、どのように決めたのですか。

**佐野** 優れた研究機関があり、教育環境もいいので、中1から東大志望でした。一時、模試で成績が悪いときは他大学に変更しようと思ったこともありました。高2の時点では絶対東大だと決めていました。



**木村** 理系、文系のどこに進みたいとか、そこまでは決めなかったのですか。

**佐野** 実は、今もよく分かっていなくて、それも東大を志望した理由の一つです。東大には進振りという制

受験までの私の学習		緒方 裕
科目	得意度指数	学習方法
数 学	★★★★	・クリーム本をひたすらやる。 ・授業の復習をしっかりやる。 ・テスト演習の復習をしっかりやる。 ・復習して危ういと思った分野のクリーム本をさらにやる。
英 語	★★	・単語力をつける。 ・本番でどこでどう点を取るか計画を立て、点を取りたいところ（私の場合はリスニング）から対策する。 ・過去問を解き、傾向をつかんで対策する。
化 学	★★★★★	・テキストの予習復習。 ・テスト演習で間違えた部分を見直し、自分の苦手な分野を把握し、その単元の問題を解く。 ・隙間時間で吉久先生作のまとめプリントを読んで知識を整理。 ・ひたすら過去問を解いて演習する。
物 理	★★★★	・テキストの予習復習。 ・テスト演習で間違えた部分を見直し、自分の苦手な分野を把握し、その単元の問題を解く。 ・新課程で新しく入った単元は特に重点的に勉強した。 ・ひたすら過去問を解いて演習する。
国 語	★★	・古文と漢文で点を取りたかったため、それらを参考書や他塾の講座などで勉強し、あとは過去問をひたすら解いた。 ・現代文は他塾の講座で勉強した。 ・センター対策で過去問や参考書、問題集をやった。
地 理	★★	・参考書で知識を整理し、12月から過去問を解いた。

- ◆繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？  
繰り返し使っていたテキストは、クリーム本とテスト演習の問題。1学期中はとにかくテキストの予習復習をし、2学期以降はテスト演習の復習をやり、不安のある単元はクリーム本などのテキストを使って再度復習する。
- ◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？  
東大の過去問は高3の夏休みと12月以降に8年分ずつ、ただし古文・漢文と英語の一部の大問は25カ年を使ってさらに5年分くらい。
- ◆センター対策としてしたことは？  
数学・化学・物理・英語：過去問を12月からそれぞれ3年・10年・6年・9年分やっただけ。  
地理：夏休みなどに参考書を使って勉強し、12月から過去問を8年分やった。  
国語：11月から過去問を13年分、さらに参考書を使って勉強した。
- ◆SEGの授業の予習・復習の仕方は？  
予習は分からない問題も最低15分は頭を使って考える。復習はまず授業で習ったことを整理し、次に予習で何ができていなかったかを考え、再度問題を解いてみる。
- ◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？  
夏休み。秋（文化祭があり、10月はあつてないようなもの）に備えて必死に勉強した。主に講習の予習復習に時間を割き、残った時間で苦手科目の克服と、まだ理解できていない単元の復習をした。



度（進学選択制度）があるので、入学後に興味のある学問分野を見つけ出したいと、理科Ⅰ類にしました。

**小林** 高1くらいから医学部に行きたいという希望があり、高3の10月くらいまで医科歯科大を志望していました。研究方面に行きたい気持ちもあったので、東大の方がその点で充実しているのかなという迷いもありましたが、その時点から国語やリスニングを始め、間に合うだろうかと思ひ切れないでいました。そんなとき、化学の川原先生から「今の成績だったらチャレンジしてもいいんじゃないか」と背中を押され、そこから東大志望に切り換えました。

**緒方** 東大を志望したのにはいくつか理由があります。まず、将来があまり決まっていなかったのも、東大にしかない教養学部に進んで、じっくりと将来を考えたかったからです。研究環境が充実していることや、高校から一番近い大学だったことも影響しています。校内には東大に行くのが当たり前という雰囲気があり、正直それに乗せられた感があったのも事実です。  
**加藤** 理系に決めたのはSEGの影響です。とりあえず数学だけSEGに通っていたのですが、高2からは物理や化学が面白いと聞き、実際に受講してみると、本当に面白かったのも、だったら理系にしようかなと（笑）。どの大学に行きたいという思いはあまり強くなかったのですが、東工大が家から近く、毎朝通学の電車で見かけるので、漠然とこの大学に行くのかなという感じで決めました（笑）。

**北園** 数学が好きで、理学部の数学科に進学したいと

いうことは明確でしたが、志望大学までは深く考えていませんでした。周囲に数学ができる人がたくさんいる環境に身を置きたいと思ってはいましたが、数学以外の科目はできないので東大は諦め、結局、東工大に収まりました。

**中野** 小学校のときに東大卒の先生がいらして、漠然と東大に行きたいとは思っていました。また、他の人も言っているように、進振りがあるのは東大だけなので、進路が決まっていなかった私には合っているし、けっこう東大に行く人が多い学校だったこともあって、東大を受けることにしました。

数学の勉強法  
受験対策のメインはクリーム本！

**木村** さて、教科別の勉強法について聞いていきましょう。まずは数学からお願いします。

**佐野** 中1から高3まで、数学はずっとSEGに頼りっぱなしでした。受験のときも、クリーム本が受験対策のメインの教科書でした。本当に良問が厳選されていて、これをちゃんとこなすことで数学の基礎が身につきます。また、答案をきれいに書くことも心がけました。説明不足でばっさり減点されることを防ぐためにも、採点者に分かりやすく説明を書くことが大切だからです。得点開示を見た限り、もしきれいに答案を書かなかっただら、落ちたかもしれないと思っています。

**小林** 高2の終わりまでは受験を意識していなかったため、数学も面白い読み物感覚でノートを見返していましたが、それでもけっこう力がついたと思います。高3になってからはクリーム本です。佐野君も言っていました、あの本のすごさは、過去問をやり始めると実感します。どの問題を解いても、似たような問題がクリーム本にあることが分かるからです。最初は「こんな薄いだけやっていて大丈夫なのか」と心配になりましたが、クリーム本をしっかりとやっていると、本当に過去問が解けるようになります。SEG生みなさんは、疑わずにクリーム本に頼っていいと思います。

**緒方** 中学のときは数学が大好きだったので、勝手にテキストの問題を解いていたのですが、高校に上がってからは理科に興味湧いてきたため、数学にはあまり力を入れませんでした。ところがテストゼミを受けたところ、基礎的な部分が全然できていなかったことが分かり、すぐにクリーム本に戻って基礎固めに重点的に取り組みました。また、雲T先生の「センターが終わったら計算力が落ちているから、少なくとも数Ⅲはクリーム本をしっかりとやるときや」というアドバイスに従ったところ、効果を実感しました。

**加藤** SEG生はみな数学が好きだと思いますが、私は本当に嫌いでした。やってもできないし、できないからやらないし、でも受験だから……と無理やりやっていました。大澤先生の授業を取っていたのですが、先生は解けると「やったー」とか「うれしいですね」と、大きなリアクションをしてくれます。数学ができる人はこれがうれしいのだと分かり、私も「やったー」と言えるようになりたいというモチベーションで勉強をしていました。SEGの授業があったからこそ、逃げずに数学をやったのだと思います。

**北園** 高2までは数学が好きで、1年先の予習をやるつもりで、基本的には難しい問題を解いて遊ぶ感覚で勉強していました。高3になると、数学にばかり時間をかけられないと考え、一気に数学の勉強時間を減らしたところ成績は急降下し、クラス分けで2クラスも落ちてしまいました（笑）。原因はミスの多さでした。そこで、夏期講習で青木亮二先生のテストゼミを受講したところ、見直しを徹底する癖が身につき、ミスが激減しました。先生には本当に感謝しています。

**中野** みんな言うように、高3で勉強を受験用に切り換える際には、クリーム本が本当に役に立ちました。私はけっこう面倒くさがり屋で、わりと薄いものに関わらずやり切るのが大変だったのですが、解いていると、模試やテストゼミでも解ける問題が増えてきて、改めてクリーム本の偉大さに気づきました。



理科の勉強法  
確実な基礎固めが肝要！

**木村** 次に理科の勉強法をお願いします。

**佐野** 物理を高2の春から、化学は高2の夏から取りました。SEGの授業は、受験対策というより、学問の本質を教えてくれ、学問への興味を引き出してくれる授業なので、復習さえやっていけば、高2の時点ではそんなに苦むことはないはずですが、僕は化学に関しては高2の時点でちんぷんかんぷんでした。ところが、高3になって吉久先生の授業を取ったところ、1学期の12回の授業で「化学大好き！」と思えるくらい化学が好きになりました。先生は「化学は、基本ができていれば得点できる科目だ」とおっしゃっていますが、12回の授業で僕の穴だらけだった化学の基礎を埋めてくれたのだと思います。英語は高3からやろうと思っても、あまり伸びないと思いますが、僕の経験からいえば、化学や物理は基礎固めをすれば、高3からでも十分に伸びる科目だと思います。ただ、過去問で十分合格点を取れるほど力がついたとしても、僕のように本番で失敗することもあり、油断は禁物です。

**小林** 理科は化学と生物を選択しました。化学は高1からSEGに通っていました。吉久先生に言われたとおり、センターの過去問を25年分解き、教科書の後ろにある補充問題に高2のうちから手を出していたら、高3で改めて受験勉強をしなくても普通に問題が解ける状態になりました。後は、テストゼミで時間配分の調節さえできれば、きちんと得点できるようになっていたのも、あまり苦労はしませんでした。一方、

受験までの私の学習

加藤 沙輝

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？

センター後から、数・物・化7年分＋英3年分。過去問に慣れるという意味では、SEGの東工大対策講座が良かったです！テキストにも大学のクセのよく出た問題が厳選されていて、1冊終えたころにはすっかり慣れていました。

◆センター対策としてしたことは？

そこまで必死にやる必要性はないと思いますが、国・社は参考書や学校の教科書を使って一からやりました。あとは過去問で慣れ、です。

◆SEGの授業の予習・復習の仕方は？

直前期（2月に入ってから）は過去問をやりつつ、苦手な部分は講義ノートまで戻って論理から納得して演習を重ねる、といった感じでした。量は少なくとも良いから、きちんと消化して自分のものにすることを大切にしていました。

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★	主にクリーム本、テストゼミの復習。夏はほとんど数学に割きました。微積分は頻出なので、有名な話題にたくさん触れるようにしました。数学は大の苦手、解説を聞いても「なんでそういう発想になるの？」となることが多かったのも、まずそこから自分で考えるようにしていました。
英語	★★★★	単語帳等は使わず、ひたすら他塾の教材を音読していました。あとは空き時間に英語の音声を開いたりしました（リスニングの有無にかかわらず効果的です）。
化学	★★	苦手科目だったので、問題を解くたび講義ノートに戻って、知識を定着させることを意識しました。テストゼミでアウトプット、復習でインプットを繰り返すことで、徐々に安定してきました。
物理	★★★★	一問一問が重いので、量をこなそうとはせず、一問を最後まで解ききることを大切にしていました。1学期と夏期の物理のテキストは、予習が大変でしたが、復習のときにもう一度通して解いて、「問題の流れに乗る」ことを感覚的に覚えるようにしました。
国語	★	1月に入ったくらいから、古文単語や漢文句形など暗記ものだけやりました。あとは過去問で慣れです！
倫理、政治経済	★★	学校の教科書を9月くらいから、蛍光ペンを引きながら、すき間時間に読み、年末から教科書準拠のワークブックと過去問で演習をしました。



生物は高3から受験勉強を始めました。学校の授業を受けて定期テストの勉強をするというのが、基本でしたから、はじめのうちは模試で点数が取れなくて大変でした。SEGに通っていようといまいと基礎を固めることは重要です。基礎固めにはけっこう時間はかかりますが、それをやっておくと、最後の方になって指数関数的に成績が上がっていきますから、めげないで基礎部分をはっきり固めてほしいと思います。

**緒方** 物理は高2から、化学は高1からSEGの授業

を受けました。物理は最初、吉田先生のHクラスでしたが、この授業は恐怖でした。「どうしてできないの?」という言葉にビビって(笑)、分からないことは残さない方がいいと必死に復習しました。高3になると曜日の都合で、同じ吉田先生のGクラスに変えたのですが、そのテストゼミで「入試問題なんてたかが基礎を組み合わせただけだ」ということに気づき、そこからは基礎固めをして演習をこなして応用力をつけられいのだと考えるようになりました。化学は、高1から吉久先生でした。先生のおっしゃる重要な点はしっかり勉強するようにしながら高2の夏までにしっかり取り組みました。すると、高3の夏前の面談で、吉久先生に「お前はこの夏、化学は勉強するな」と(笑)。化学の力はそんなに錆びないので他の教科の勉強に使えということでした。実際、テストゼミが始まって2週目くらいで錆びが落ちたので、先生の言うことは本当でした。

**加藤** 物理・化学ともに高2からSEGを受講していました。物理はずっと有川先生に習っていましたが、物理法則の発見の歴史などを小ネタにはさみながら、自然にその流れが入っていくように説明してくださいました。よく生徒に質問する先生で、ちゃんと答えられるように勉強していったおかげで、基礎がなくて問題が解けないということはありませんでした。テストゼミは難しく、ぜんぜん解けなかったのですが、限られた時間の中で最後まで解き切る努力はしました。実は、本番の物理は例年よりかなり難しかったのですが、テ

ストゼミの方がもっとハードだったと思い出し(笑)、いつも通りの姿勢で臨めました。化学は高2が阿部先生、高3が吉久先生でした。阿部先生は講義の板書がすごくきれいで、板書を写したノートは無敵でした。他のどんな参考書よりも分かりやすいと思います。吉久先生の場合はお話が魅力的だったため、夏休みに有機化学の講義を受講しにSEGの横浜姉妹校エデュカまで通ったほどです。テストゼミでは、吉久先生がよくおっしゃった「当たり前のことを当たり前にする」ことができず、クラス最下位になったこともあります。阿部先生のノートを振り返りながら基礎固めをしたところ、クラストップ10くらいまで上がりました。

**北園** 物理は高2まで何もしなくて、学校の授業と定期テストをこなす程度でした。しかし、さすがにそれではまずいと思い、高2が終わった春休みから独学で物理の勉強を始めました。春休みに物理だけをやったら勝手に力学が身について(笑)、高3の1学期は熱力学と波動を、夏休みの7月に電磁気学をやり、形式的には基礎は一応身につけました。問題は化学でした。高3の夏休みまでは絶望的な状態で、学校の授業でも赤点を取ったほどでした。そのため7月で終わった物理に代え、8月1日からは化学を一から見直し始めました。本当に単体と化合物の違いから始めたのです。そこから25日間くらいで理論化学と高分子を除く有機化学を身につけ、その流れで2学期に無機化学と高分子を独習したら、河合塾のセンター模試で90点を取るくらいに伸びました。

**中野** 物理は高2から吉田先生のHクラスにずっといましたが、理解が追いつかず苦勞しました。まず計算が大変ですし、習っていない概念を使ったりするので、テストは何とか間に合わせていましたが、高3に



なると、これはやばいなと思うようになりました。そこで内容を最初から復習し直し、テストゼミに挑んだのですが、そのおかげで、過去問がわりと簡単に思えるようになりました。やはりコツコツやることで力がつくなど実感しています。化学はずっと吉久先生で、高2の夏くらいまでに全部終わらせ、センターの過去問、演習問題とステップアップしていきました。これで力がついたと思っていたら、テストゼミで読み間違いが多いことが発覚。でも、吉久先生から「化学の読み間違いは本番が近づいていくと直るから大丈夫」とおっしゃっていただき安心しながら続けていたところ、読み間違いのミスを減らすことができました。

受験までの私の学習

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？

センター過去問…センター1週間前から。文系科目は4年分。理系科目は2年分。  
理科大・早稲田過去問…2日前から3年分(ただし英語はやっていない)。  
東工大過去問…1週間前から5年分(ただし英語はやっていない)。

◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

もともと伸びしろが多かったの  
で、高3の模試では受けるたびに  
学力が伸びたと実感。数学に関し  
てのみ周りの成績上昇と自分のミ  
スの多さから高3の1学期に成績  
が明らかに降下したが、夏休みの  
青木亮二先生のテスト演習の講座  
のおかげで一気にミスが減り、成  
績が上昇。

科目	得意度指数	学習方法
数 学	★★★★★	高1～2まで…長期休みは1年くらい先の内容を予習。普段から数学で遊ぶ。 高2～3まで…SEGの授業に全て任せる。他は特に何もしないで他教科に力を注ぐ。
英 語	★	諦める。高3での勉強量は国語や社会と変わらないレベル。
化 学	★ ↓ ★★★★	高3の夏休みまで何もせず(学校の授業にも全くついていけない状態)。高3の8月1日からの約25日間、化学を最初から(単体と化合物の分類から)勉強。その25日間は化学しかやらない(そこで理論化学と高分子分野を除く有機化学を習得)。高分子と無機化学は2学期にまったりやる。
物 理	★★ ↓ ★★★★	高2が終わるまで何もやらない(学校の授業にはついていけてたが定着はせず)。春休みは物理だけをやる。力学を習得。1学期も家では物理しかやらない。ここで熱力学・波動を習得。夏休みの7月に電磁気学をひたすらやる。
国 語	★	センター1週間前に過去問を解き始めて、物語→漢文→古文(ほぼ勘で解く)→論説文の順で解くと決意。
現代社会	★	高校のシステム上、高2は地理が日本史しか選択できず、地理選択に。地理は全く勉強していなかったが、過去問を解いて現代社会がノー勉でも60点取れることに高3の夏に気づき、現代社会に切り替え。それからセンター1週間前から過去問を解く以外の勉強はせず。

受験までの私の学習

◆繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？

SEGのテキスト。特にクリーム本、青本、チェックシート、テストゼミの問題は完璧になるまでやりこむべきだと思います。

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？

センターが終わってから国立二次試験までの1カ月間。現役はこのラストスパートの時期に爆発的に学力を伸ばせると思います(実際、私もそうでした)。今までやってきたことの復習をしつつ、過去問をこなしていくといいと思います。

科目	得意度指数	学習方法
数 学	★★★★	・SEGのテキスト、テストゼミの復習。 ・秋以降は過去問に手を出した。
英 語	★★★★	・定期的に長文に触れるようにした。 ・センターが近くなったら、学校で配られた文法の問題集を覚えた。
化 学	★★★★	・SEGのテキスト、テストゼミの復習。 ・夏休みくらいから志望順位の低い大学の過去問を少しずつ解いていた。
生 物	★★★	・学校の授業を主体に勉強した。 ・長期休暇に問題集を何冊かこなした。
国 語	★	・古文単語、文法などを模試が近くなったら覚える、ということを経り 返した結果、本番までにはある程度定着した(と思う)。
地 理	★	・学校で演習地理という授業をとっていたので、自分から勉強を始めた のは12月くらいからだった。 ・予想問題集や過去問を解いた。





英語の勉強法

多読でリスニング力と速読力をつける

**木村** 今度は英語の勉強法を聞かせてください。

**佐野** 高1の夏からSEGの多読を受講しましたが、良かったと思う点は、速読力が身についたことです。中学の頃は副詞節をカッコでくくるなど、文法構造を細かくチェックしながら読んでいましたが、多読ではそうした読み方は禁物で、スラッと読んでいきます。東大では膨大な量の英文が出題されるため、多読の授業が本当に役立ちました。僕は単語帳が続かないタイプで、有名な分厚い単語帳に手をつけたものの、1割も進まず挫折してしまいました。そこで、作戦を変更し、模試で出てきた単語で分からない単語をピックアップして勉強する方法をとりました。実際、単語帳を1冊やるくらいの効果があったので、単語帳が続かない人にはお勧めの勉強法です。

**小林** 英語は、高1と高2で他塾に通っていて、そのときに文法事項や基礎的なものを身につけました。高3になると、学校でも演習に入って本番かそれ以上にハードな英語の長文を毎回扱うようになったため、その予習をして分からないところを授業でしっかり確認するということをやり始め、塾にはあまり通わなくなりました。長期休暇には、長文読解の問題集に取り組みましたが、高3はそれほど英語をやっていなかったような気がします。

**緒方** 中1から高1まで多読に通い、高2でも講習を一度受けました。多読で伸びたと感じたのは、リスニング力と速読力です。多読の授業の半分はネイティブの先生の授業でしたので、リスニング力がつきました

し、イギリス人の先生だったため、イギリス英語にも抵抗感がなくなりました。残り半分の授業で、大量の本を速く読み、しっかり理解する力を養うことができました。高3になると、高校の英語の授業が割と大学受験を意識した内容になり、リスニングではいい教材を使い、英作文も授業中に何度も書いて添削してもらえたので、学校の授業を中心にして、後はあの分厚い単語帳を1周、根性でやり切りました。

**加藤** 高1の終わりまで、地元の少人数の塾に通い、文法と単語力を鍛えました。高2の夏からは、音読を重視する別の塾に通い始めましたが、英語はそこまで苦手ではなかったため、高2までは音読をしませんでした。すると、成績が次第に低迷し始めたため、3カ月くらい音読を続けたところ、その塾の先生が「英語が読める人には、英文が立体的に見える」と言っていたことが腑に落ちるようになりました。

**北園** 僕は本当に英語ができないので、みなさんのアドバイスはすごく勉強になります（笑）。高2終了時点で理科も英語もできなかったのも、高3の1年間は理科だけをやることにし、英語は、センターにしかない国語、社会と同じくらいの扱いにしました。そして本番では、英語以外の科目だけで合格点をめざすことにしました。東工大の合格点は例年400～450点なので、数学で250点、物理・化学でそれぞれ100点を取る作戦でした。実際、数学と化学は予定通りで、物理は想定外の難度で得点が伸びなかったものの、0点換算だった英語が想定外の30数点も取れました。

**中野** 私も英語はあまり得意ではなく、高2までは多読の本を読んだり、宿題をこなしたりといった勉強しかしていませんでした。高3からは危機感を感じて、学校で配布された単語帳やリスニング教材を使ってちゃんと勉強するようになりました。多読で良かったのは、英語を文章で読めるようになったことと、リスニング力がつくことです。また、要約なども先生が対策してくださったため、長文が出題される東大の過去問も解きやすくなり、次第に時間が余るようになりました。

国語・社会の勉強法

国語は古漢を重視・社会は直前に対策

**木村** 国語と社会についてはいかがですか。

**佐野** 現代文に関しては、有名な講師のいる他塾に通っていました。それまではフィーリングで解いていたのですが、論理的な科目だと分かったことで、以後は安定した点数を取ることができるようになりました。古文・漢文に関しては、とくに古文が苦手で対策ができずにいましたが、今年は古文がやさしくて本番

では国語に助けられました。社会は日本史を選択しましたが、東大はセンターだけのため、正月まで何もしてませんでした。センター直前になって、日本史を簡単にまとめた参考書を使い、後はひたすら過去問を解きまくっていました。社会は、大学受験のレベルなら覚えるだけの科目なので（笑）、僕としては新年明けてからでも間に合うのではないかと考えています。

**木村** 覚えるのに何か工夫をしましたか。

**佐野** 書いて覚える努力はしましたが、歴史系の科目では流れを意識しました。たとえば、戦争はその背後に対立があるので、宗教や文化などの対立に目を向けました。そのことで、政治史と文化史のつながりも理解できるようになりました。

**小林** 東大への志望変更が遅れて、国語はまったく対策していませんでした。古文・漢文は学校の授業で何とかやっていましたが、現代文が壊滅的で、11月の模試でも8点とか……。塾に通ってなかったのでこれ以上どうしようもないと諦め、過去問に触れる程度にして、古文・漢文に力を入れました。社会は地理選択です。学校の演習を取っていたので大丈夫だろうと思っていたところ、12月頃になって過去問であまり点数が取れないことに気づきました。地理は、題材は違っても背景の考え方は似ていることが多いので、そのパターンをひたすら暗記するようにしました。

**緒方** 僕も社会は地理を選択しました。高3の夏までは何もしていなかったし、学校でもセンター対策をしていなかったため、自分で参考書を買って地誌と系統地理をやり、過去問では安定して90点くらい取

れるようにしましたが、本番は失敗しました。国語は、現代文を頑張って30点取るより、古文・漢文を頑張って30点取る方が楽だと考え、古文・漢文を重点的に勉強するようにしました。高3で他塾の通常授業を取っていたため、そこで古文・漢文をしっかりやり、現代文は最低限漢字だけは点を取る方針で臨みました。

**加藤** 国語は、ぶっちゃけ何も勉強しなくても、日本人だったら100点くらい取れると思います（笑）。ただ、何もしないのも不安だったので、古文・漢文の単語や句形を年末から1月にかけて寝前に覚えるようにしました。社会は倫理・政経を選択しましたが、学校の先生に勉強法を聞くと「教科書を読んでおけば」という感じだったので、9月から理系科目の息抜きの教科書を一通り読んで、後は過去問と教科書の併用問題集のようなものを使っていましたが、それで十分でした。

**北園** 東工大は国語と社会はセンターだけですが、高3の2学期の河合塾のセンター模試では、東工大の足切り基準ギリギリでした。それでも何もしないままセンター1週間前になって過去問を解きまくりました。ただし、国語は戦略を立てました。論説文は読むのに40分くらいかかり、それで分からないとなると、絶望感が半端無いので、最後に回すことにしました。まず、物語文から手をつけ、注釈などで点が取りやすい漢文に移り、中2から棄てている（笑）古文を勘で埋め、最後に論説文に挑もうというわけです。社会は、学校のカリキュラム上、仕方なく地理を選んだのです

受験までの私の学習		佐野 鴻之
◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？	センターが明けてから、10年分解きました。	
◆センター対策としてしたことは？	日本史はひたすら暗記を繰り返しましたが、それ以外の教科はひたすら過去問を演習しました。	
◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？	高3の1学期、化学が信じられないほど得意になりました。化学は本当に基礎固めが大事な教科（吉久先生がおっしゃっていました）、そこを大切にしたらだと思います。	
科目	得意度指数	学習方法
数 学	★★★	クリーム本、SEGのテスト演習、過去問をやりました。あと、SEGの『微積分資料集』などは結構興味深い内容が書かれており、読むのが好きでした。
英 語	★★	SEGのテキスト、テスト演習、過去問をやりました。東大の場合は、リスニングも併せて120分で、本番そっくりの過去問演習をしました。
化 学	★★★★	SEGのテキスト、テスト演習をやりました。吉久先生の授業は聞いているだけで頭の中にすらすらと授業内容が入ってきたので、あまり復習に時間を割かず成績を伸ばすことができました。友達が貰った周期表トランプなるもので遊んだことも化学の勉強の一環だったかもしれません。あと、「化学の新研究」を辞書代わりに使っていました。
物 理	★★	SEGのテキスト、テスト演習をやりました。「東大の物理は簡単」と思っていたので、物理は多少の苦手意識があったものの、あまり対策をしませんでした。そしたら、本番でひどい点数を取りました。
国 語	★	現代文は他塾の授業を受けていました。その授業はとても論理的で分かりやすかったのも、現代文はそこそこ安定した点数が取れていました。古文・漢文は、学校の先生と過去問演習に頼りきりでした。
日本史	★★	センター過去問を解きまくって、分からないところは徹底的に復習を繰り返しました。日本史の勉強を本格的に始めたのは新年が明けてからですが、それでも本番で9割得点できました。



が、高3の夏に現代社会という科目が存在することを知り、ノー勉で過去問を解いたところ60点くらい取れました。地理では100点中9点のこともあったので、その時点で現代社会に切り替えました。

**中野** 国語は苦手で、高2の模試では下から何番目かという成績で、数学より偏差値が20も下回っていました。親から東大を受けるなら国語をやりなさいと言われ、センター現代文の参考書を渡されましたが、それが思ったよりも良くて、現代文の読み方が分かり、次の模試では学年順位で2桁に上がりました。古文・漢文も放置していたので、夏頃に学校の演習を受け、2学期からは古文の文法や単語の復習を始め、過去問に手をつけるという流れで勉強しましたが、最後まで苦しみました。社会は、もともと好きだった地理を選択しました。学校のセンター対策と秋からの参考書での勉強で、過去問では8割を超えるくらいまでいきましたが、本番では残念ながら失敗してしまいました。

#### 長期休暇の過ごし方

### 規則正しい過ごし方が一番

**木村** 長期休暇の過ごし方について、何かアドバイスはありますか。

**佐野** 僕はまったく参考にならない過ごし方をしていました。夜も遅く、朝は一旦8時くらいには起きるのですが、朝食後にまた寝て11時頃に起きるとい……。反面教師にしてもらえればと思います（笑）。勉強はSEGの自習室と他塾の自習室を使っていまし

た。家だと絶対に寝てしまうので、毎日、県境を越えて東京まで通っていました。

**小林** 私はずっと家で勉強するタイプでした。受験の天王山と呼ばれる夏休みに入った当初は妙にやる気があったのですが、自宅にいると精神的にきつくなり、半ば頃には「もうだめかもしれない」という気分に襲われることがありました。そこで、1日のノルマを決め、それをこなしたらもう勉強せずに好きなことをするというように切り換えました。後で好きなことができるという楽しみがあると、けっこう勉強がはかどるようになり、次第に精神的に安定してきました。長期休暇は、だらだらと長時間勉強するのではなく、気分転換を上手く取り入れてほしいと思います。

**緒方** 僕の学校は9～10月に文化祭に打ち込むため、勉強はほとんどできず、夏までにしっかりやっておく必要があります。夏休み中は、家では勉強できないことが分かっていたため、朝食をとったらなるべく早くSEGや他塾の自習室に行くようにしました。8割の力でだらだら勉強するよりも、10割の力で勉強して、適当に休息の方が効果的だったと思ったので、めりはりをつけて勉強していました。冬休みは、クリスマスまでは二次の勉強がメインで、その後はセンターに一気に切り換えました。なお、気分転換だからと普段食べないようなものを食べない方がいいです。僕はセンター直前に胃腸炎になり、大切な3日間を無駄にしました。ですから体調管理にも気をつけてほしいと思います。

**加藤** 私は夏休みの過ごし方を反省しています。SEG

の講習を取りすぎて、その予習復習に追われて自分の弱点補強の時間が取れなかったからです。夏の講習は、自分の勉強時間も考慮して受講すべきです。冬休みはセンターに向けての体のリズムづくりも大切だと思ったので、早起きするようにしていました。計画を立てるのが苦手なタイプですが、冬休みからは毎朝、今日やることを書き出し、できたら消すという習慣をつけるようにしました。こなさなければならないことが見えてくるので、私と同じタイプの人にはお勧めです。

**北園** 学校のある平日は帰宅しても勉強できない性格でしたから、その分長期休暇だけはひたすら勉強していました。ただ昼夜は逆転していて（笑）。起床は午後3時で、夜中の12時に勉強をはじめ、朝の6時までめっちゃくちゃ集中して勉強しました。冬休みは、さすがにそこまでは昼夜逆転はしませんでした。センター対策は、結局1週間前からになってしまいました。

**中野** 学校があるうちはあまり文系科目を勉強しないので、夏休みの間は文系科目を対策することがメインでした。あと、長期休暇は体調管理を優先していました。とくに私は、睡眠時間が減ると体調を崩すので、睡眠時間はしっかり確保するようにしていました。

**木村** みなさんは睡眠時間はどれくらいですか。

**中野** 私は8時間以上です。8時間は寝ないと、しばらくして体調がくずれてくるのです。

**北園** 学校のある日はたぶん6時間くらいで、それに授業中の居眠りが加算されます（笑）。ただ休日前は一気に10時間くらい寝て、長期休暇中は平均して9時間くらい寝ていました。

**加藤** 睡眠が90分サイクルだという話を聞き、7時間半は寝ていました。もう少し寝たいときは9時間になりました。

**緒方** 加藤さんと同じで、長期休暇中は7時間半が基本で、週1くらいで9時間寝ていました。また、自習室の日は必ず30分は昼寝していました。

**小林** 高3に入ってから冬休みまでは6時間きっかりで生活していましたが、冬休みと直前期はなぜか8時間睡眠に変わっていました。

**佐野** 学校のある日は6時間くらいで、休日は6～7時間プラス二度寝を3時間（笑）といった感じです。自習室でもよく寝ていました。

#### 部活動、学校行事との両立

### 部活をやり切った感が大きな自信に

**木村** 部活や学校行事と、SEGの授業との両立についてはどうでしたか。

**中野** 部活は高2で引退なので、両立は大変ではありませんでした。ただ、高2のときは文化祭の準備もあっ



たりして、部活に出るとSEGには行けないこともありました。そのため、授業を振り替えたり、文化祭が終わってからちゃんと勉強し直したりしていました。

**北園** 勉強との両立はそこまで深く意識したことはありません。大学で数学をやりたいとは考えていましたが、高校生活をしっかり楽しんで、そのついでにしっかり勉強して、入れる大学にいいなといったスタンスでいました。

**加藤** 部活はダンス部で、高3の6月まで続けました。しかも主将だったので、引退までは部活がメインでした。その分、SEGに出られなかったり、遅刻したり、復習にあまり手が回らなかったりといったこともありました。日曜日を使って何とかついでにける範囲で勉強していました。ただ、部活をやり切ったことが大きな自信につながり、受験態勢にカチッと切り換えることができました。受験は体力勝負なので、体力づくりの点からも部活に打ち込んで良かったと思います。

**緒方** 部活は高2の夏に引退したので、両立は問題ありませんでした。ただ、高3は1学期に音楽祭、2学期に文化祭と行事が多彩で、音楽祭ではクラスの指揮者だったため、SEGの予習はできず、授業と復習だけに専念しました。文化祭のときは、両立はほぼ諦めていました。そしてしっかり文化祭ロスを味わってから、一気に気持ちを切り換えました。

**小林** 私も部活は高2で引退しましたし、高3はほとんど行事がなく、合唱コンクールも塾通いの生徒のために放課後の練習をさけてくれたので、SEGとの両立に差し支えることはありませんでした。

**佐野** 同じです。部活は高2の1月で引退ですし、文化祭に高3はまったく関わらなかったの、両立は

#### 受験までの私の学習

#### 中野 遥

##### ◆繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？

主にクリーム本、物理、化学のチェックシートを使用していた。一度に全部解くというわけではなく、あまり理解していない分野の問題を繰り返し解いていた。

##### ◆センター対策としてしたことは？

理系科目に関してはセンターの形式に慣れるという意味で過去問をたくさん解いた。基本の理解を深めるためにセンターの過去問を早めに始めていた化学以外は、約5年分を解いた。英語は、理系科目よりも多く10年分近くを解いた。

##### ◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

テストゼミが始まってしばらく経った頃、10月あたりだったと思う。SEGのテキストを中心に予習と復習を繰り返していた。

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★	・主にクリーム本と、2学期からはテストゼミの復習を中心にやっていた。 ・センター明けあたりから過去問を時間を計って解き始めた。解けた問題の数だけではなく正確さも重視した。
英語	★★	・英語はあまり得意な方ではなかったため、高3に進級するあたりからセンターに向けた文法と単語の復習から始めた。 ・リスニングの対策のために、登下校中の電車の中などで「リングマテリア」のCDを聴いていた。 ・東大の英語は問題の量が多いため、形式に慣れるために要約などは高3の1学期あたりから対策を始めていた。
化学	★★★★★	・もともと得意科目であったため、高2で全ての範囲が終わってからは基本の抜けがないかの確認と演習をやっていた。 ・2学期からは、テストゼミの復習のみをしていた。
物理	★★★★	・物理はまず現象を理解するために授業の復習をした。その後、問題を解いて理解を深めた。
国語	★★	・現代文はセンター対策用の本を読んで過去問を解いていた。 ・古文や漢文は単語、句形、文法を覚えてから過去問を解いて練習していた。
地理	★★★	・秋頃になってからセンター用の参考書を読んで勉強し始めた。 ・過去問は年末になってから解き始めた。





まったく問題ありませんでした。

#### 大学生生活

### 大学ならではの授業に魅力

**木村** 今度は大学入学後に移りましょう。どんな学生生活を送っていますか。

**中野** 月曜5限の「現代物理学」という授業を取っていますが、SEGの吉田先生以来の面白い授業のような印象があります。古典力学だけでなく、統計力学や熱力学といった、見るスケールが変わる感じの物理と、力学と熱力学をつなぐ境界みたいな物理の勉強で、とても楽しく受講しています。

**北園** まだ始まったばかりなので、そんなに面白い授業には出会えていません。数学は今、微積分をやっていますが、SEGで木村先生に習ったようなことをやっているような感じがします。

**加藤** 東工大は意外と文系科目が充実していて、今年から「立志プロジェクト」という名の授業が始まりました。入学から5月末までの間に、著名人の講義を聞き、それをふまえてのグループワークがセットになった授業で、講義では池上彰先生のお話を興味深く聞くことができましたし、グループワークも充実していたので、満足感があります。

**緒方** 今、もっとも楽しいと思っているのは、木曜5限の「化学薬学概論」と金曜5限の「生物薬学概論」です。毎回違う教授が自分の研究内容を紹介してくれるので興味がつきません。また「音楽論」という授業ではオペラ鑑賞ができるので、これも気に入っています。個人的には高校で50分だった体育が150分もあり、

ソフトボールが長くできて幸せを感じています（笑）。

**小林** 気に入っている授業はいくつかあります。たとえば「教育臨床心理学」は、人の発言の裏に働いている理論が分かって面白いと思っています。また、「主題科目」の中にある「医学に接する」という授業は、実際に東大病院の患者と接する機会もあり、将来につながる貴重な体験ができる授業だと思います。

**佐野** 僕は苦勞していることをお話します。第二外国語でフランス語を選択しましたが、それが大変なのです。動詞の活用数が英語とは比べ物にならず、冠詞もたくさんあって、英語がいかに簡単だったかを実感しています（笑）。

**中野** 私もフランス語ですが、あまり苦勞はしていません。人によって苦手な言語は違うようですね。

**緒方** 僕はドイツ語ですが、英語よりドイツ語の方が面白いのではないかと考えています。

**小林** 私は中国語です。発音は驚異的に難しいのですが、その分、文法が難しくないので助かっています。

**北園** 東工大は、第二外国語は2年次からなので、いろいろな情報を得てから決めたいと思っています。

#### 将来の夢

### 大学生活の中で考えたい

**木村** 将来についてはどのように考えていますか。

**佐野** まだはっきり決めていませんが、SEGで働くのもありかなと思っています。今チューターをしています。生徒を教えて、成績を伸ばすという仕事もやりがいがあるという感じがしていますが、進振り後にもう一度しっかり考えたいと思っています。

**小林** 医師にはなりたいですが、臨床に行くか研究に行くかは、これから決めようと思っています。

**緒方** 将来の夢が決まらないので東大に入ったようなものですが、入学してから急に薬学に興味を持ち始めました。ただ、研究に向いているタイプでもないし、就活も面倒くさいと思っているので（笑）、これからの出会いの中で決めようと思っています。

**加藤** 小さな頃から飛行機が好きで、航空工学系に進みたいと第4類を選択したのですが、経営工学にも進めるようで、今は航空か経営かで揺れています。この1年で答を出したいと思います。

**北園** 僕は割と本気でSEGの先生になりたいと思っています（笑）。研究よりは、教育の方がいいと思っています。実際、教職も取っています。ただ、学校の先生というよりは、生徒のレベルが高いSEGの方が、やっていて楽しいのではないかと考えています。それに、学校の先生だと、1限目に間に合いそうもありませんし（笑）。今、チューターをしているので、受験

生時代よりもSEGにはよく通っています。

**中野** 一応、化学系に進みたいと考えています。教えるのは向いてなさそうなので、研究職に進みたいと思っています。家の近くに理化学研究所があるので、できれば、そこに勤めたいという気持ちがあります。

#### 後輩へのメッセージ

### 高校生活を楽しんで！

**木村** 最後に後輩へのメッセージをお願いします。

**中野** 文系科目を除いて、SEGの勉強以外はほとんどしていませんでしたし、学校で配られる重要問題集を人にあげてしまったこともあります。SEGの勉強だけしていれば合格できますから、頑張ってください。

**北園** 勉強は頑張るしかありませんが、それを頑張しつつ、高校生活を楽しんでもらえたらと思います。

**加藤** 北園君と同じで、高校3年間は本当にあっという間です。まずは高校で自分が熱中したいことに全力

### 卒業生からのメッセージ

